第43回 組合員海外酪農視察研修

カナダ･ホルスタイン酪農視察研修

『第43回組合員海外酪農視察研修』が2014年11月11日～17日の７日間、デーリィマン社との共催で行われ、カナダ・トロントにおいて開催されたローヤル・ウィンター・フェアを視察して参りましたのでその概要を報告いたします。

11月11日　日本出国～カナダ・ナイアガラへ

今年度のツアー参加者は、当組合の大迫代表監事を団長に、副団長には当組合の串田理事が就き、道内酪農家、全国の酪農関係者の他、引率の先生とともに３名の高校生を含んだ総勢20名の視察団となりました。

出発に当たり、北海道からの参加者18名は新千歳空港で団結式を行い、デーリィマン社 西本専務、当組合 藤澤参事、北海道家畜人工授精師協会 新澤常務より挨拶を頂きました。羽田空港で本州からの参加者２名と合流し、簡単な自己紹介の後、定刻通りに日本を出発しました。機内では数回の食事とその合間に仮眠をとり、トロントでカナダへの入国審査となり、ガイドのテリー鈴木氏と合流し、そこからバスで西へ約２時間、ナイアガラへ到着しました。

ホテル隣のレストランでの夕食は、安着祝いとして大迫団長の音頭で乾杯し、改めて参加者全員の自己紹介を行いました。

大迫団長挨拶

別海高校からの参加 左から
加藤さん、伊藤くん、平岡教諭、斉藤くん

11月12日　ナイアガラの滝と牧場視察

午前中はナイアガラの滝を見学し、落差と水量に圧倒されました。
周辺の水力発電所は100年以上前に建造されているものも…

〔サミット ホルム ホルスタイン〕

搾乳頭数360頭、出荷乳量5,000t、平均305日乳量12,669kg/頭、同(初産)10,780kg/頭、分娩間隔13ヵ月

オーナーは兄弟とその息子の家族経営。12頭ダブルのパーラーで３回搾乳。労働力は常勤２名と搾乳のみのパート12名。畑作業はタッチせず、業者に委託する方が安上がりとの事。施設は合理性と牛の快適性を考慮して拡張している。繁殖プログラムはコンピュータ管理されており、自家授精を行う。12.5～13ヵ月齢で初回授精し、初産分娩は23ヵ月齢。繁殖サイクルが乱れる牛にはホルモン治療を施し、２回授精して受胎しなければ、３回目は安価な精液か肉牛を授精する。ETはせず、性判別精液も使用しない。個体販売は年間60頭。

最高齢14歳11産
生涯乳量160,000kgOver

牛舎入口前で

カナダの生乳出荷はクォーター制度を導入しており、納入権利を購入しないと出荷できないとの事で、新規就農はほぼ無い。ただし、これにより大企業の参入を防ぐと共に、既存の酪農家を保護する側面を持っている。

〔ボスデールホルスタインズ〕

搾乳頭数150頭、平均乳量10,800kg、乳脂率4.1%、蛋白率3.2%、平均産次4.5産、分娩間隔13ヵ月。搾乳は16台のユニットで２回搾乳。体型得点90点以上50頭　85～89点120頭。改良は体型を重視し、使用精液は後代検定済95%、ヤングサイアー５%程度。ホルスタインの他に養豚350頭。

ショトルの娘93点

ドレークの娘93点

牛舎入口

天井掃除は年１回牛を繋いだまま行い、その後牛を洗う

〔ウォルナットローンファームス〕

日本からの視察は今回が初めてとの事。平均乳量10,700kg、乳脂率4.11%、蛋白率4.3%。収入の75%は生乳生産で25%は個体販売。改良は体型と乳脂肪を重視し、40〜60%はヤングサイアーを使用している。牛群の95%は自家繁殖牛で、導入牛は３年間で３頭のみとの事。削蹄は年４回で、約1,500円/頭/回。

アベンドの娘94点

ドアマンの娘ゴールドチップ受胎

ラバンガードの娘89点 受精卵を販売しているとの事で、ツアー参加者からドアマンの受精卵を購入希望するも契約済みのため断念

写真中央に写る当牧場４代目(予定)である２人のお子さんは、私達の視察のために学校を休み、朝から到着を待っていてくれた

〔フラドン ホルスタイン〕

６月に現在の場所に移転してきており、前の牧場は兄が経営している。搾乳頭数65頭、平均乳量10,000kg、乳脂率4.2%、蛋白率3.3%。労働力は本人と息子の２人。敷地内にシンジケート所有牛の牛舎と企業の受精卵関係の施設があり、採卵から移植まで実施する。

RED牛が好みとの事でファミリーは多いが、良い牛は少ないと嘆いていた。

シンジケート所有牛舎。構成員の牛も預かり移植する。

同じ建物内の受精卵関連施設

11月13日　ローヤル・ウィンター・フェア視察①

会場に到着しインターナショナルビジネスセンターで受付を済ませ、レッドアンドホワイトショウのリングへ向かいました。

グランドチャンピオン＆インターミディエイトチャンピオン
ブロンディン デストライ サリー（３歳シニア１位）
父：サイエンティフィック ディストライ

リザーブグランドチャンピオン
MS-SRP アブソリュート プロRED ET（４歳１位）
父：アップルズ アブソリュート RED ET

インターナショナルビジネスセンターにはミルクや水、コーヒー等の飲み物の他、クッキー、リンゴなどの食べ物も自由にいただく事が出来、他にもクローク、インターネット、コピーなどの設備も整っていました。

夕方からセール・オブ・スターズが開始され、北海道のゴールデンナショナルセールとはまた一味違った雰囲気でのセールでした。セールの平均価格は2万6,000ドル、最高額はマッカッチェンの娘（LPI3232 GTPI2508）19万8,000ドル。

11月14日　ローヤル・ウィンター・フェア視察②

この日は朝からブラックアンドホワイトショウの3部から開始されました。

ジュニアチャンピオン
ソリッドゴールド ディー ゴールドサン ディスコ（当歳夏生れ1位）
父：トクファーム ゴールドサン ET

リザーブジュニアチャンピオン
ストランスホーム ゴールド アニス ET（子牛シニア1位）
父：ミスター チャシティー ゴールド チップ ET

インターミディエイトチャンピオン
ブルックヴィラ ゴールドウィン ブルックス（3歳シニア1位）
父：ブレイデール ゴールドウィン

リザーブインターミディエイトチャンピオン
チャーウオル アティック マーシー（3歳シニア2位）
父：オーリンデール I アティック ET

グランドチャンピオン
RF ゴールドウィン ヘイリー（成牛１位）
父：ブレイデール ゴールドウィン

リザーブグランドチャンピオン
ロブヒル ゴールドウィン ケイトリシャ（５歳１位）
父：ブレイデール ゴールドウィン

プレミアエキジビターのプレゼンターとして大迫団長、串田副団長と共に、受賞されたオンタリオ州ジェイコブズファームへ楯を贈呈しました

11月15日　東から西へ

視察研修も終盤に差し掛かり、帰国に向けてトロントからバンクーバーへ移動しました。トロントを10:00に出発し、バンクーバー到着は12:00。しかしながら実際の飛行時間は５時間ほどあり、改めてカナダの広大さを実感しました。また、例年この時期は雨が多いとの事でしたが、この日は快晴でした。

空港近くの水上レストランで昼食を取った後、市内研修に出発しました。クィーンエリザベス公園、チャイナタウン、ギャスタウン、スタンレー公園を見学し、市内の和食料理屋で夕食を取り視察研修最後の夜を楽しみました。

初めにクィーンエリザベス公園からの眺望。名称はクィーンエリザベスが幼少の頃に訪れたことにちなむ。

ギャスタウン・砂金掘りに失敗したギャシー・ジャックが採掘者を相手にバーを開いたところ、大繁盛して発展した街

スタンレー公園のトーテムポール

バンクーバーの夕日

11月16日　いざ帰国の途へ

午前中は時間があった為、ホテル周辺を散策し、怪しい建物がありました。その名も「KONBINI YA」日本の商品が売っているそうですが、早朝の為クローズしていました。

昼過ぎの成田行きの飛行機に搭乗し、予定通り成田空港に到着ののち解散式を行い本州の参加者と別れ、北海道からの参加者は千歳空港からそれぞれ帰宅の途につき、７日間の研修が無事終了しました。

今回初めて海外研修に参加させていただき、このような機会を与えて下さった組合長を始め、組合、関係機関の皆様に感謝致します。この貴重な経験が今後に生かせるよう、業務に励みたいと思います。

（登録部証明課技師　坂田）